

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(

京都市立待賢幼稚園

)

1 平成26年度 重点評価項目

1. 確かな学力の育成(他者との協同の中で、主体性を發揮する子どもの育成)
2. 豊かな心の育成(豊かな体験活動の実践)
3. 健やかな体の育成(基本的生活習慣の確立、進んで体を動かして遊ぼうとする子どもの育成)

2 1回目評価

<p>・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定</p>					<p>・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理</p>	<p>自己評価</p> <table border="1"> <tr> <td>評価日</td><td>平成26年9月17日</td></tr> <tr> <td>評価者・組織</td><td>幼稚園評価委員会</td></tr> </table>	評価日	平成26年9月17日	評価者・組織	幼稚園評価委員会	<p>学校関係者評価</p> <table border="1"> <tr> <td>評価日</td><td>平成26年9月17日</td></tr> <tr> <td>評価者(いずれかに○)</td><td><input checked="" type="checkbox"/>学校運営協議会 <input type="checkbox"/>学校評議員</td></tr> </table>	評価日	平成26年9月17日	評価者(いずれかに○)	<input checked="" type="checkbox"/> 学校運営協議会 <input type="checkbox"/> 学校評議員
評価日	平成26年9月17日														
評価者・組織	幼稚園評価委員会														
評価日	平成26年9月17日														
評価者(いずれかに○)	<input checked="" type="checkbox"/> 学校運営協議会 <input type="checkbox"/> 学校評議員														
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策									
1 確かな学力	主体的に遊び込む子どもの育成	一人一人の参達に応じた指導の充実・園内研修での子どもの記録の検討・国立教育政策研究所教育課程研究指定校・豊かな学び媖英スクール指定校として研究を進めている	一人一人の参達に応じた経験ができるようとしているが、幼稚園に行きのを楽しみにしているか、毎日めあてをもって登園して自分の力を十分に發揮していると思うか。	「参達に応じた指導」は94%、「めあてをもって自分の力を発揮」は83%であると回答 「園内研修前期回数21回 文科省視学官からの評価」	⇒ 主体的に遊び込む子どもの育成やコミュニケーション力の育成については高い評価を得た。絵本を読むことについて力を入れてきたが、関心の度合の格差が生まれている。園内では聞く態度、言葉遣いについて指導することも多い。園内研修の中で、個々の主体性について分析する方向性が見いだされた	年度後半に入り、更に子どもたちが主体性を發揮して遊ぶことができるよう、教師の子どもの読み取りや計画性について深めていく。絵本を読む楽しさについて幼稚園で意識して取り組むとともに親子で楽しめる方策を考え方実施する。話したくなる聞きたくなる信頼関係を更に結び、気持ちの良い聞く態度や言葉遣いについて根気よく伝えていく。	⇒ アンケート結果や保護者の意見より、園の取組が子どもの主体性を育むことに成果を上げていると考える。絵本への関心については子どもの情緒の安定や良好な親子関係をつくることに関係してくるので今後も引き続き取り組んでほしい。								
	コミュニケーション力の育成	挨拶の意識向上 聞きたくなる話したくなる信頼関係の構築	自分の思いを言葉で伝えたい思いが育っていますか、人の話を聞く態度がついていると思いますか、挨拶や返事ができていると思いますか。	「言葉で伝えたい思いの育ち」は94%、「話を聞く態度」は80%、「挨拶や返事」は72%であると回答	⇒ 「ノーテレビ・ソーゲーム」絵本読もうの取組は定着しましたが、「めさせ100冊親子で読書」の取組は楽しめていますか。	⇒ 「ノーテレビ・ソーゲーム」との定着」は72%、「100冊親子で読書」の取組は77%であると回答	⇒ 「ノーテレビ・ソーゲーム」絵本読もうの取組は定着しましたが、「めさせ100冊親子で読書」の取組は楽しめていますか。								
	ノーテレビ・ソーゲーム 絵本室の活用、話し合いの機会の確保	100冊読書の親子の取組 絵本室の活用、話し合いの機会の確保	「ノーテレビ・ソーゲーム」との定着」は72%、「100冊親子で読書」の取組は77%であると回答												
2 豊かな心	豊かな体験活動	園内・外での自然体験 小動物とのふれあい 地域や他団体との交流	子どもの姿の変容 子どもがいきいきと園生活ができるように環境づくりをしていましたか。	「園の環境づくり」については100%であると回答	⇒ 今年度、国立教育政策研究所の教育課程研究指定校や豊かな学び媖英スクールの指定を受け、園内研修を重ねる中で、細かな子どもの読み取りとそこから指導の在り方を見直していくことで、子ども育の内面の育ち等が明らかになった。特に保護者にも子どもの育ちに応じた環境づくりについて高い評価を受けた。	子どもの細かな記録から育ちを読み取る研究を引き続行しながら、地域や他団体との交流も深め、更に豊かな体験ができるようになります。街中ではあるが、園内に今後も自然を意識して更に取り込み、豊かな感性が育まれるように努める。	⇒ 研究に積極的に取り組み、子どもの育ちを卒園児に至るまで視野に纳入して保育を行っていることを評価する。幼稚園の在籍の子どもだけでなく地域の子どもたち(親子)の豊かな育ちについても考えていくってほしい。								
	規範意識の育成	遊びや生活中での具体的な事柄からの指導 全教職員による素地指導	園内研修での細かい子どもの記録の分析・回数 素地指導の回数	園内研修前期回数21回 文科省視学官から細かな記録について評価を受けた。	⇒ 園内研修での細かい子どもの記録の分析	⇒ 植物や小動物等への関心が高まっている。言葉遣いや聞く態度について指導することが多い。	⇒ 園内研修での細かい子どもの記録の分析								
	豊かな感性を育む	園庭の草花などの環境の充実 伝統文化に触れる、観劇体験、正しい言葉使いの徹底													
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	一人一人に応じた丁寧な指導	「早寝・早起き・朝ごはん」は実行できましたか。基本的な生活習慣がついていると思いますか。	「早寝・早起き・朝ごはん」は92%、「基本的生活習慣の確立」は94%と回答	⇒ 「体力」は100%についてきていると回答「元気に遊んでいる」は94%と回答	基本的生活習慣については大きな達成はできたが、今後就学・進級に向けて一人一人細かに見直し指導する。自ら体を動かして遊ぶ保育で大切にしている取組が体力がついてきたという保護者の実感につながっている。	⇒ 早寝早起き等は、保護者の働き方等にも影響してくる。幼稚園で取り組めることは限られているが、今しかできない子育てが豊かになるようなことを考えないといけない。								
	進んで体を動かして遊ぼうとする子どもの育成	広い元待賢小学校校庭の活用・園外保育の充実・環境整備・計画的な保育													
4 独自の取組	地域に開かれた子育て支援推進	毎日の園庭開放・教育相談 未就園児親子の遊びの日の開設 子育て支援センター等との連携	参加者数、参加者感想	未就園児遊びの日の参加者4月～9月のべ602名(去年度の約1.4倍)	⇒ 未就園児の参加もHPアクセス数も預かり保育の参加者数も増えている。	地域の民生児童委員さんや更生保護女性との連携を更に強め、地域の子どもたちの健やかな成長を図るために地域の子育て支援センターとしての役割を果たしていく意識を全教職員が高めるようにする。今後も園の保育が伝わるようなHP個人情報に配慮しながら積極的に更新していく。預かり保育の内容について子どもの様子を見ながら地域性を生かした体験を考えていきたい。	⇒ 待賢幼稚園の周知について努力しているが、まだなかなか知れ渡っていない。預かり保育の発足には運営協議会が関与してきたが、時間の設定等にも問題があるのではないか。								
	情報発信の充実	HPの積極的な更新 地域への情報紙の発行 保護者への保育の説明	HPアクセス数 地域からの意見 保護者アンケート結果	前期HPアクセス数9,714(去年度前期の約1.25倍) 保護者「園での子どもの様子がわかりやすい」94%回答	⇒ 保護者の口コミで未就園児の遊びの日等の周知度が高まっている実感がある。										
	預かり保育の充実	毎日保育終了後2時間の預かり保育の実施 保護者・地域の方の人材活用	預かり保育参加者数・アンケート「預かり保育は安心安全な遊びの場や保護者の子育て支援になっていますか」	前記参加延べ人数1,213名(去年度前期の約1.3倍)アンケート100%であると回答											